



としよかんだより 2024年3月号



平和について考えてみませんか？

1945年（昭和20）3月27日、アメリカ軍のB29による爆撃から一木（立石）地区の集団下校中の子ども達を守ろうとして傷あとを残した、頓田の森のシイの木の眼から見た絵本です。この絵本から、残された者への悲しみを癒し、子ども達の未来を考えてほしいというメッセージが伝わってきます。

絵本に出てくるシイの木は、戦後50年に絵本発刊と同時に、平和を祈る記念碑としてよみがえり、今も朝倉市中央図書館入口に立っています。戦争を知らない子ども達に、今の平和の尊さを改めて感じてもらいたいものです。



中央図書館前モニュメント

シイの木の4つの輪には、「誕生」「成長」「死」「再生」の意味があります。

『シイの木はよみがえった』

飯田よしひこ／文
別府ひろみ／絵 海鳥社

中央図書館

【おはなし会】

～毎週土・日曜日～

時間：14:00～

場所：図書館 おはなしのへや

対象：幼児～小学生

内容：絵本の読み聞かせ、手遊びなど

【びよびよおはなし会】

～毎月第2・3水曜日～

日時：3月13日・20日

11:30～

場所：図書館 おはなしのへや

対象：0～2歳くらいの乳幼児と保護者

内容：絵本の読み聞かせ
わらべうた遊びなど

3月のテーマ

「本が広げる 無限の世界」



おすすめの本

一般書

『シリーズ藩物語 秋月藩』

林 洋海／著 現代書館



朝倉市に存在した『秋月藩』。2023年は成立から400年目となり様々な記念事業などが開催されてきました。シンポジウムなどに参加された皆さんも、この本を通して、九州で最古の城下町が造られた歴史から再認識しませんか？（中央館・あさくら館所蔵）

児童書

『おやすみまくら』

斉藤倫・うきまる／文
牧野千穂／絵 小学館



寝たくないねこ、こねんこは元気いっぱい。「わたしをまくらにどうでしょう」と窓からアヒルがあらわれた。アヒルはふわふわやわらかくて、こねんこはすぐに夢の中へ。ふわふわ・ふわっくら・ぶるぶる等、耳からも楽しめる絵本です。（中央・あさくら所蔵）